

◆ 今週のコメント

- ヘルパンギーナの定点当たり報告数は0.76で、本年度で最も高い値です。過去5年平均値(2.70)を下回っていますが、第20週以降増加傾向です。年齢階級別では、1歳が8例(25.8%)で最も多くなっています。
- 手足口病の定点当たり報告数は0.49で、過去5年平均値(1.22)を下回っていますが、本年度で最も高い値です。

◆ 今週のトピックス:<新型インフルエンザA(H1N1)>

※今週は、7/6～7/12の期間についての記載ですが、新型インフルエンザについては平成21年7月20日までの情報を掲載しています。

新型インフルエンザA(H1N1)の発生報告が、前回週報に掲載済みの7月13日の5例以降、7月14日に4例、15日に11例、16日に4例、17日に5例、18日に5例、19日に4例、20日に4例あります。本市での累積報告数は65例となっています。
詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- 新型インフルエンザ等感染症:新型インフルエンザA(H1N1) 37例【1月以降の累積報告数 65例】

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.04	3
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.61	107
	② 水痘	0.78	32
	③ ヘルパンギーナ	0.76	31
	④ 手足口病	0.49	20
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.46	19
	⑤ 突発性発しん	0.46	19
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

病原体情報

ありません。

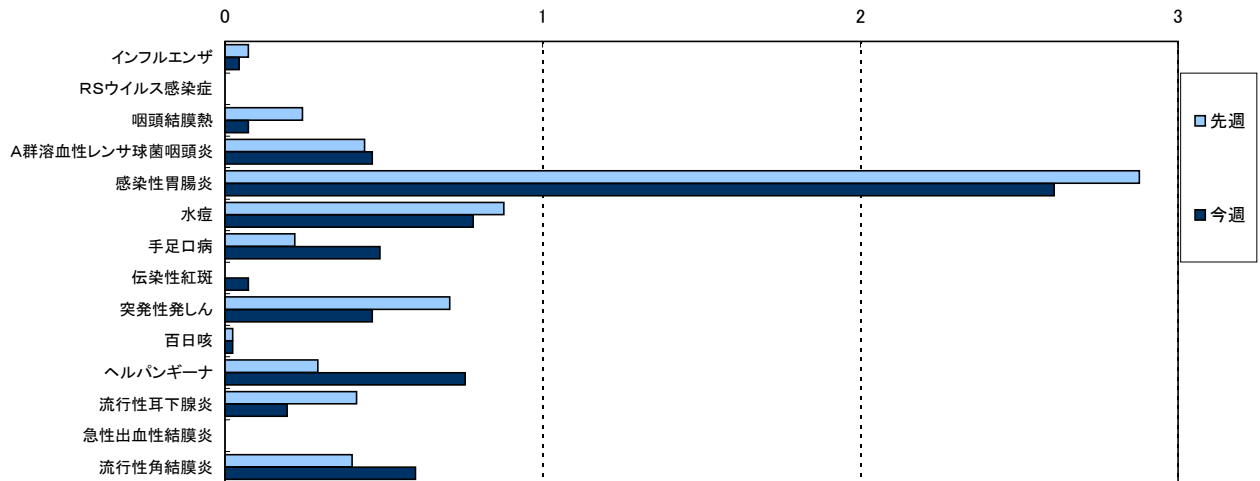
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<新型インフルエンザA(H1N1)>

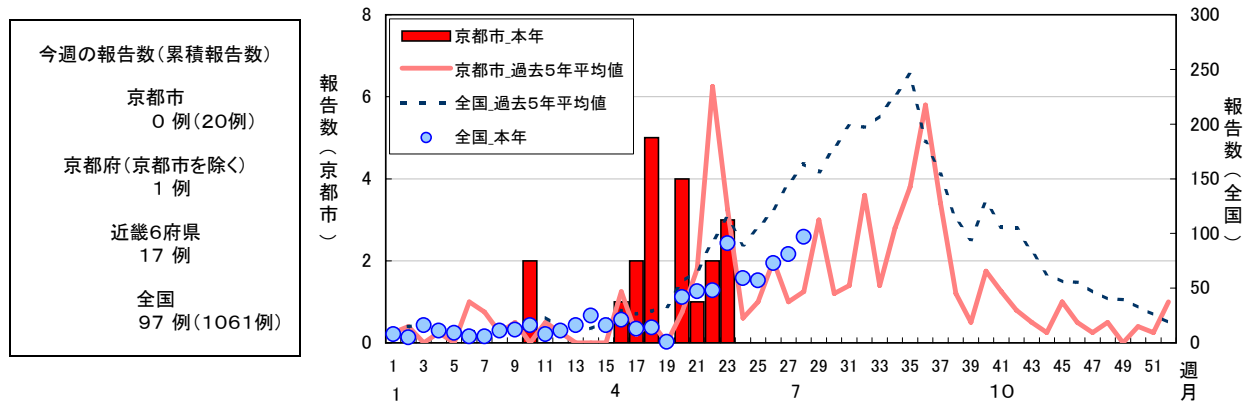
(注) 京都市のデータは、平成21年7月16日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第28週)と先週(第27週)の定点当たり報告数の比較

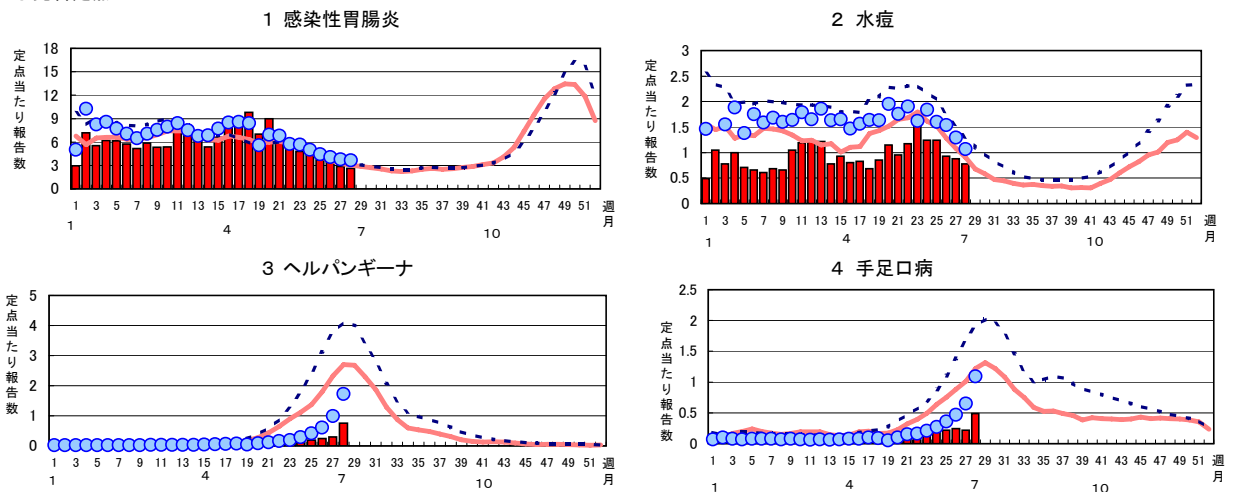


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

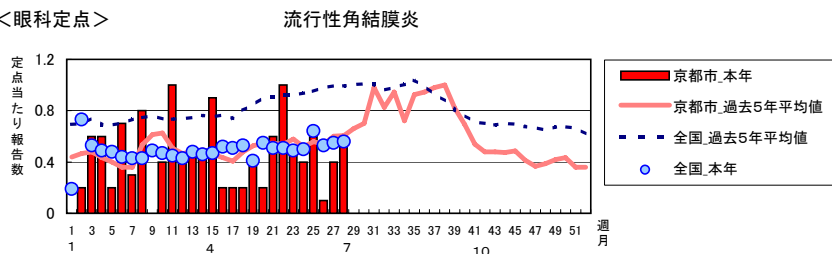


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>

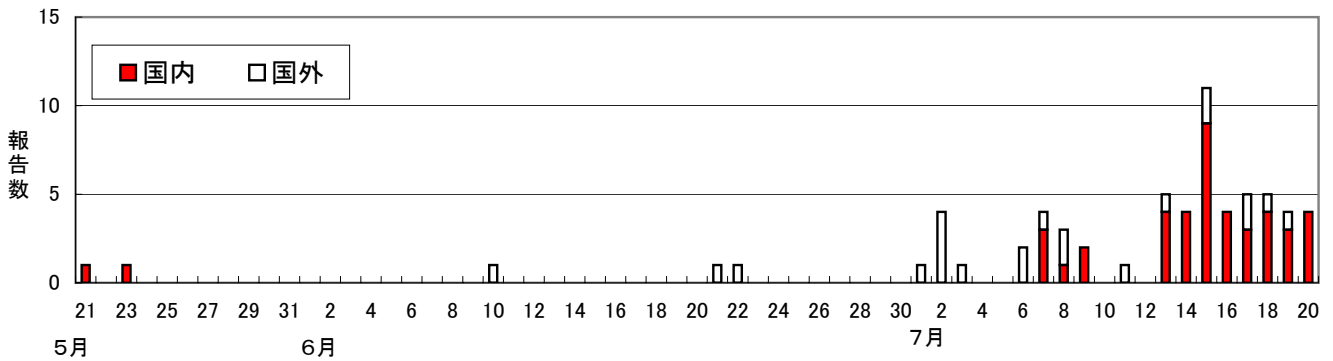


今週(第28週)のトピックス: <新型インフルエンザA(H1N1)>

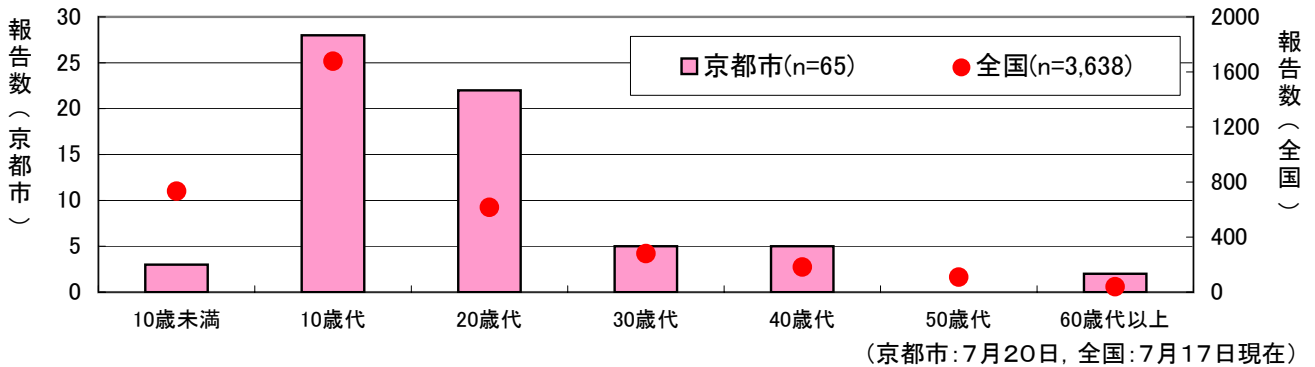
※今週は、7/6～7/12の期間についての記載ですが、新型インフルエンザについては、平成21年7月20日までの情報を掲載しています。

本市の新型インフルエンザの累積報告数は、7月20日現在、65例で、男性37例、女性28例となっています。報告数の推移をみると、5月2例、6月3例に対し、7月は60例報告されています。推定感染地域別にみると、国内は43例、国外(アメリカ、フィリピン、カナダ、タイ、オーストラリア、フランス、トルコ、イギリス)は22例となっています。国内感染例では、集団発生も報告されています。なお、病院や学校、施設等で、集団感染の発生が疑われる場合には、最寄りの保健所への相談をお願い致します。年齢階級別にみると、10歳代が28例(43.1%)と最も多く、次いで20歳代が22例(33.8%)となっています。全国の累積報告数は、7月17日現在、3,638例(男性2,071例、女性1,567例)で、年齢階級別では、10歳代が1,678例(46.1%)で最も多くなっています。京都市衛生公害研究所のPCR検査では、主に鼻腔スワブを検体として、ウイルスRNAを抽出しています。検査法は、インフルエンザA型を同定するためにA型に共通のMP領域に、また新型、香港型、ソ連型を同定するために、HA領域に、それぞれ特異的な塩基配列にプライマーを設定し、リアルタイムRT-PCR又はコンベンショナルなワンステップRT-PCRに電気泳動を組み合わせ、AH1pdm(新型)、AH3(香港型)、AH1(ソ連型)の判別を行っています。これまでにA型が確認された99例は、AH1pdm(新型)64例、AH3(香港型)35例となっており、5月は大部分が香港型、6月は両者混在するも減少、7月に入ってから再び増加し、大部分が新型となっています。AH1(ソ連型)は5月以降ありません。

本市の新型インフルエンザ患者の推移(推定感染地域別)



新型インフルエンザ患者の年齢階級別報告数



京都市衛生公害研究所PCR検査でインフルエンザA型が確認されたものの内訳(n=99)

